

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	都市景観小委員会	主 査 名：後藤 春彦 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：西村 幸夫 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な日々の暮らしを包み込んでいる「生活景」に市民権を与え、生活景向上のための景観計画の発展方向について議論を進める。 ・2006 年度：PD、学生 WS の開催。2007 年度：PD、学生 WS の開催。 2008 年度：本の出版、研究協議会の開催。各年度：景観ルックインの開催。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無(2006 年度に公募)	
	後藤春彦(早大)、小林敬一(東北芸工大)、志村秀明(芝浦工大)、浅野聡(三重大)、岡田雅代(プランニングラボ)、嘉名光市(大阪市立大)、三宅諭(岩手大)、山中知彦(都市建築研)、熊野 稔(徳山工専)、和田幸信(足利工大)、鷗心治(山口大)、宇於崎勝也(日大)、中林浩(平安女学院短大)、野中勝利(筑波大)、宮脇勝(千葉大)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2006 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物(シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 景観ルックイン「神奈川県真鶴町」 参加者数 100 名 景観ルックイン ミニシンポジウム「生活景と美の基準」 2. 学生ワークショップ「生活景の新しい見方と表現方法」 参加者数 25 名 成果物の記録 CD「生活景の新しい見方と表現方法」
大会研究集会	1. パネルディスカッション「変わりゆく生活景」 参加者数 80 名 資料集「変わりゆく生活景」
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 計画通り、大会期間中に PD を開催し、生活景の現状について議論した。 2. 毎年恒例の景観ルックインを神奈川県真鶴町で開催し、盛況であった。 3. 新たな試みとして、学生 WS(5 大学・学生 17 人が参加)を開催した。
委員会活動の問題点・課題	1. 地方の研究者が多く、旅費が不足気味である。
その他	なし